# HIV感染症患者を支える エイズ治療拠点病院における先駆的連携活動の実際

**第1回 HIV感染症患者の療養支援に関する NsとMSWの協働シンポジウム**

HIV 感染症の治療の進歩により患者さんは長期療養時代を迎えました。患者さんからは、HIV 関連・非 HIV 関連疾患の治療や予防、加齢に伴う心身の機能低下、終活などの相談を受ける機会が増えました。
この度、支援経験豊富なエイズ治療拠点病院の看護師と医療ソーシャルワーカーの協働について　シンポジウムを企画しましたので、ぜひご参加ください。

**日 時：2021年12月15日 水 18:00～19:10**

**方 法：ZOOMによるオンライン**
**事前申込制(先着100名) 締切：12月8日**
**HP http://www.acc.ncgm.go.jp あるいは QR コードから**
＊個人情報は運営管理の目的以外に使用しません

**対 象：HIV 診療に携わる 看護職と医療ソーシャルワーカー**

## プログラム

**進　　行**　羽柴知恵子　HIVコーディネーターナース（NHO 名古屋医療センター）
葛田　衣重　医療ソーシャルワーカー（千葉大学医学部附属病院）

**開会挨拶**　「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究」班　研究代表者
横幕　能行（NHO 名古屋医療センター　エイズ総合診療部長、エイズ治療開発センター長）

**シンポジウム**

❶ 事例を用いたNsとMSW の連携の実際
古谷　佳苗　HIV 専任看護師（千葉大学医学部附属病院）

❷ HIV担当看護師とMSWの役割分担と協働
小嶋　道子　医療ソーシャルワーカー（がん・感染症センター都立駒込病院）

**総合討論**（事前質問回答含む）

**閉会挨拶**　池田　和子　看護支援調整職（国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター）

主催
厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業
HIV 感染症の医療体制整備に関する研究
研究分担者：葛田衣重「Nsとの協働による要介護・要支援者に対する療養支援のネットワーク構築」
研究分担者：池田和子「ブロック内中核拠点病院間における相互交流による HIV 診療環境の相互評価と MSW と協働による要介護・要支援者に対する療養支援のネットワーク構築」

後援
公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会

問い合わせ先
国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センターケア支援室
池田　TEL 03-5273-5430
(平日 9：00-17：00)